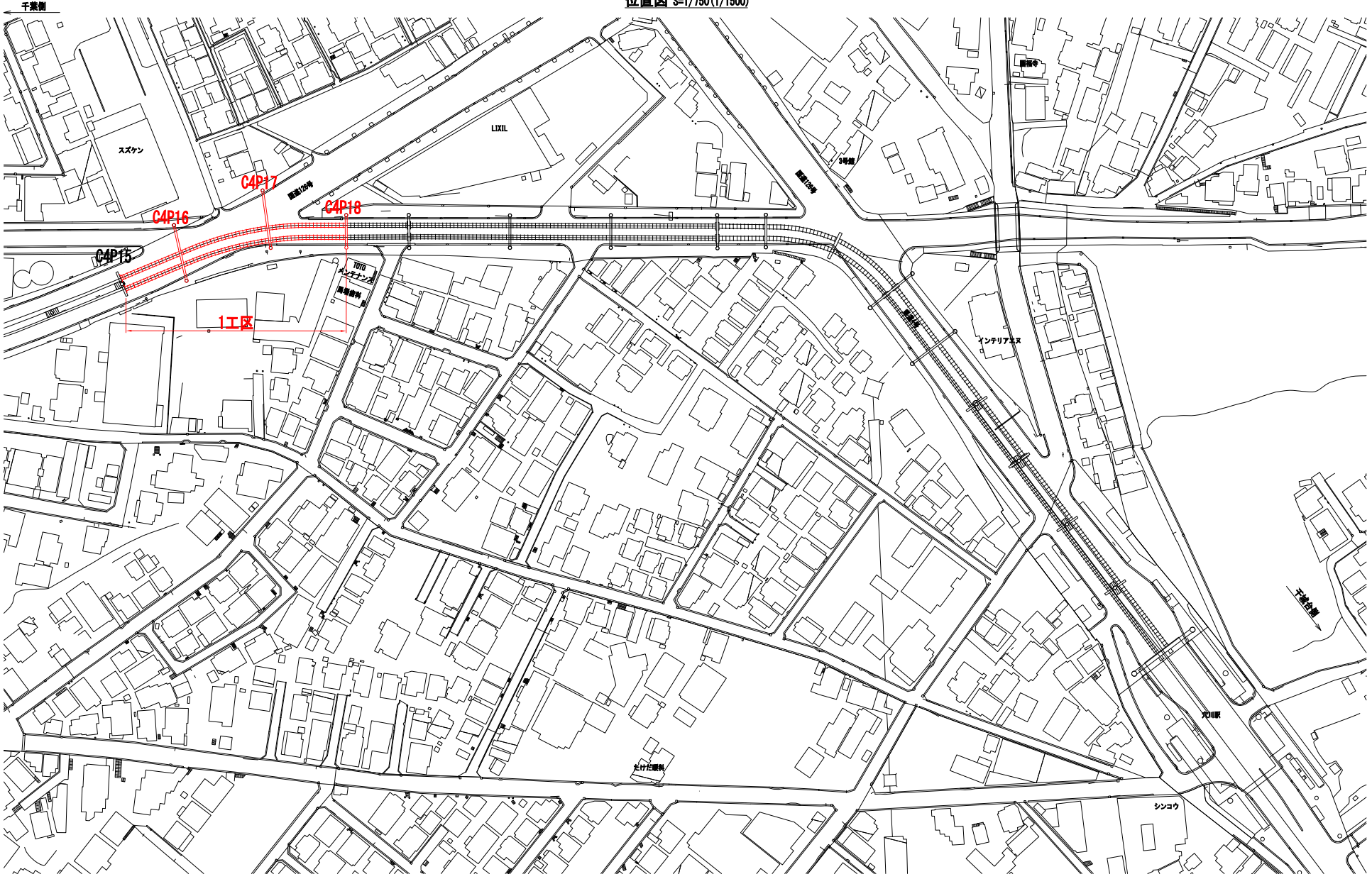


塗替塗装工事位置図

(1工区)

位置図 S=1/750(1/1500)



注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。

千葉都市モノレール株式会社				千葉都市モノレールインフラ整備塗装工事 (1工区)		塗替塗装工事位置図		縮尺	1/750	ページ	1
図名	図号	図種	工事種別	工事区画	図面枚数	図面枚数	図面枚数	縮尺	縮尺	ページ	ページ

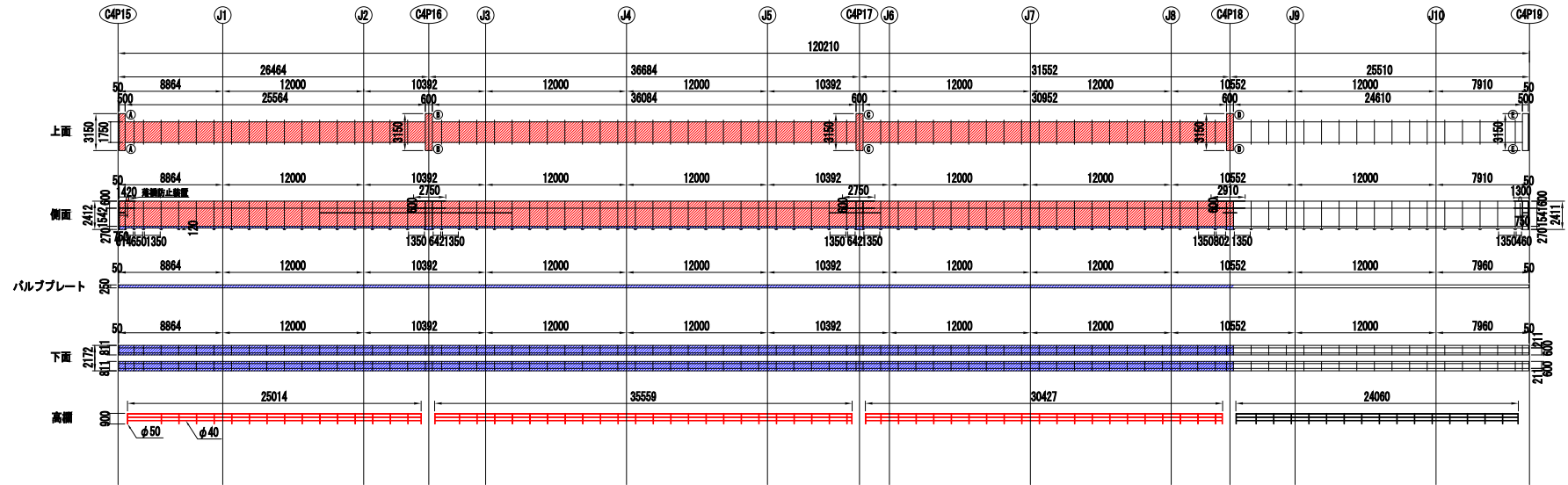
上部工塗替塗装工図-1

(軌道橋 C467D①)

C467D S=1/200(1/400)

千歳側

千歳側



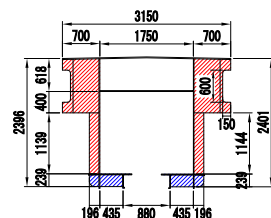
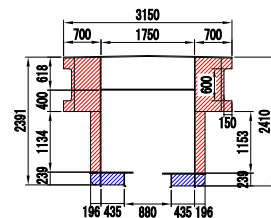
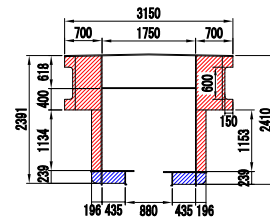
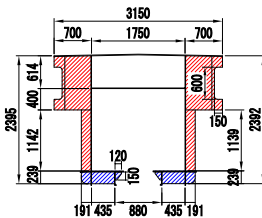
断面図 S=1/50(1/100)

C4P15 端支点部

C4P16 中間支点部

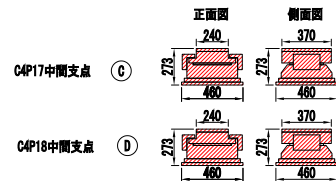
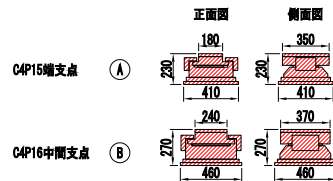
C4P17 中間支点部

C4P18 中間支点部



支承 S=1/20(1/40)

落橋防止装置 S=1/20(1/40)



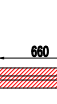
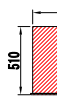
C4P15 端支点部

C4P16, C4P17, C4P18 中間支点部

立面図

立面図

平面図



塗装仕様 (一般部)

素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間~3日	下塗1層目
1日~10日	下塗2層目
1日~10日	中塗
1日~10日	上塗

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場施工)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)

- 注記)
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地に於いて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づきのものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支承及び添接板について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整剤を支承全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道橋端部に設置されている水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き孔の処置をすること。

千歳都市モノレール株式会社

千歳都市モノレールインフラ部塗装工務課 (1工区)

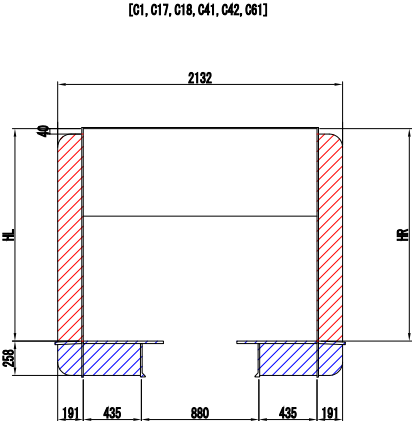
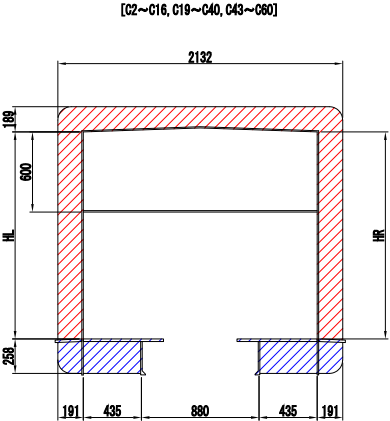
上部工塗替塗装工図-1

図示

2

上部工塗替塗装工図-2
(軌道桁 C4G7D②)

補剛リブ S=1/20 (1/40)



(mm)		
格点	HL	HR
C1~C2	2142	2139
C3~C4	2141	2139
C5~C7	2141	2140
C8~C11	2140	2140
C12	2139	2142
C13	2138	2144
C14	2137	2145
C15	2136	2147
C16	2136	2149
C17	2135	2151
C18	2133	2154
C19	2132	2156
C20	2131	2157
C21	2130	2159
C22	2130	2161
C23	2129	2162
C24	2128	2164
C25	2127	2166
C26	2126	2168

(mm)		
格点	HL	HR
C27	2125	2169
C28	2124	2171
C29	2124	2173
C30	2123	2174
C31	2122	2176
C32	2121	2178
C33	2120	2180
C34	2119	2181
C35	2118	2183
C36	2118	2185
C37~C38	2117	2186
C39	2118	2184
C40	2119	2182
C41	2120	2180
C42	2121	2177
C43	2122	2175
C44	2123	2174
C45	2124	2172
C46	2125	2170

(mm)		
格点	HL	HR
C47	2126	2169
C48	2127	2167
C49	2127	2165
C50	2128	2163
C51	2129	2162
C52	2130	2160
C53	2131	2158
C54	2132	2157
C55	2133	2155
C56	2133	2153
C57	2134	2152
C58	2135	2150
C59	2136	2148
C60	2137	2146
C61	2138	2145

塗装仕様（一般部）

4時間以内	素地調整	4種
3時間~3日	補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、R-テ
1日~10日	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日~10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日~10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-テ
1日~10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-テ

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場施工）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）

- 注記）
- （ ）内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支承及び添接板について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支承全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道桁端部に設置されてある水抜き孔において、詰まりや滞水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き孔の処置をすること。

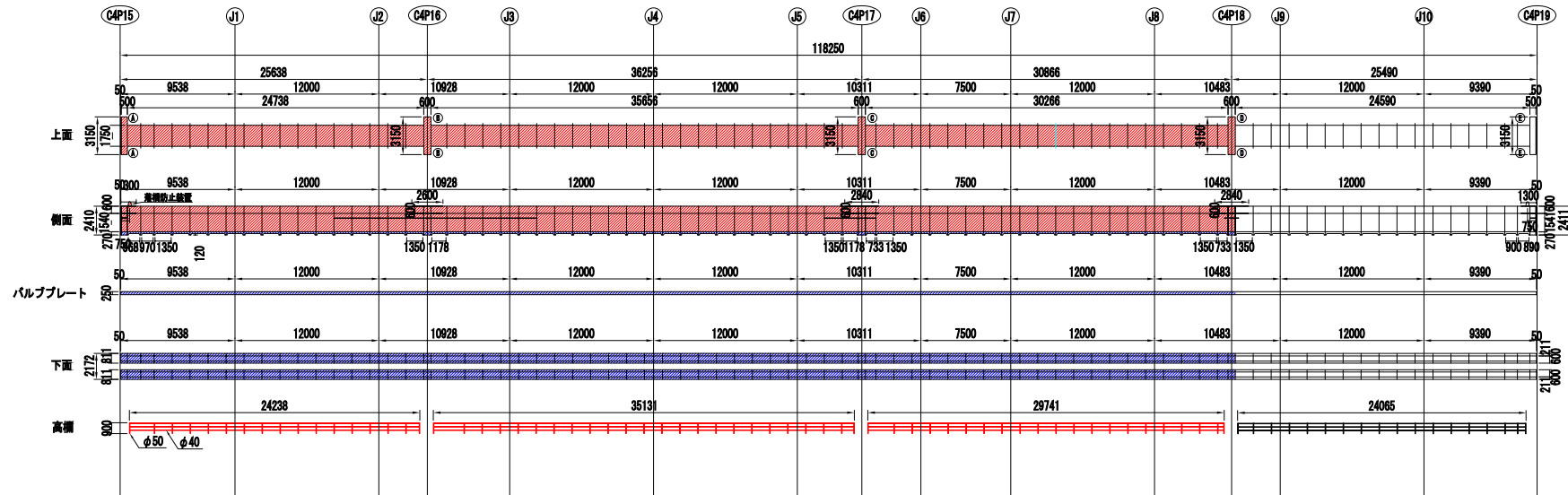
上部工塗替塗装工図-3

(軌道橋 C4G7U①)

C4G7U S=1/200(1/400)

千歳側

千歳合側



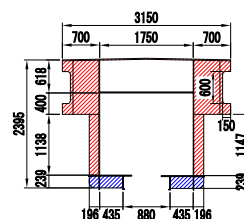
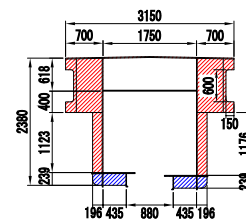
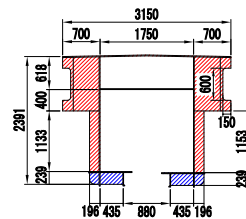
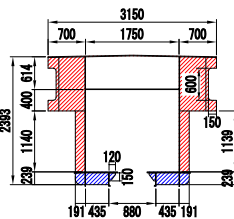
断面図 S=1/50(1/100)

C4P15 端支点部

C4P16 中間支点部

C4P17 中間支点部

C4P18 中間支点部



支承 S=1/20(1/40)

落橋防止装置 S=1/20(1/40)

塗装仕様 (一般部)

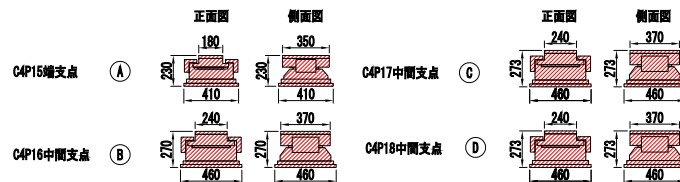
素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間~3日	下塗1層目
1日~10日	下塗2層目
1日~10日	中塗
1日~10日	上塗

素地調整経減削
100g/m²、はけ、ローテ
耐摩抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
200g/m²、60μ/回、はけ、ローテ
耐摩抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色)
200g/m²、60μ/回、はけ、ローテ
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)
140g/m²、30μ/回、はけ、ローテ
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)
120g/m²、25μ/回、はけ、ローテ

凡 例

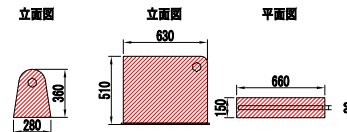
表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場施工)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)

- 注記)
- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整経減削は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支承及び添接板について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整経減削を支承全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道橋端部に設置されている水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されていた場合は、番線等に水抜き孔の処置をすること。



C4P15 端支点部

C4P16, C4P17, C4P18 中間支点部



千歳都市モノレール株式会社

千歳都市モノレールインフラ整備推進工事業 (1工区)

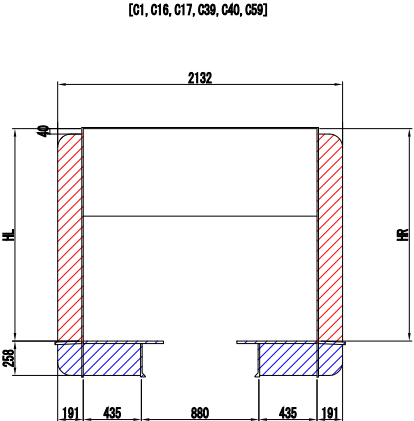
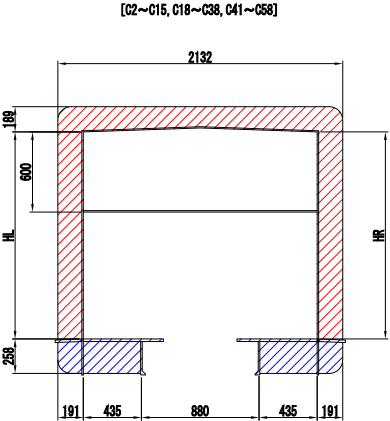
上部工塗替塗装工図-3

図示

4

上部工塗替塗装工図-4
(軌道桁 C4G7U②)

補剛リブ S=1/20 (1/40)



(mm)		
格点	HL	HR
C1~C7	2140	2140
C8	2140	2141
C9	2139	2142
C10	2138	2143
C11	2138	2145
C12	2137	2146
C13	2136	2148
C14	2136	2149
C15	2135	2150
C16	2134	2152
C17	2133	2155
C18	2132	2156
C19	2131	2158
C20	2130	2159
C21	2130	2160
C22	2129	2162
C23	2128	2163
C24	2128	2165
C25	2127	2166
C26	2126	2167

(mm)		
格点	HL	HR
C27	2126	2167
C28	2125	2170
C29	2124	2172
C30	2123	2173
C31	2123	2174
C32	2122	2176
C33	2121	2177
C34	2121	2178
C35	2120	2180
C36	2120	2181
C37	2120	2179
C38	2121	2178
C39	2122	2177
C40	2123	2174
C41	2124	2173
C42	2124	2171
C43	2125	2170
C44	2126	2168
C45	2126	2167
C46	2127	2166

(mm)		
格点	HL	HR
C47	2128	2164
C48	2129	2163
C49	2129	2161
C50	2130	2160
C51	2131	2159
C52	2131	2157
C53	2132	2156
C54	2133	2155
C55	2133	2153
C56	2134	2152
C57	2135	2150
C58	2136	2149
C59	2136	2148

塗装仕様（一般部）

4時間以内	素地調整	4種
3時間～3日	補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、R-テ
1日～10日	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-テ

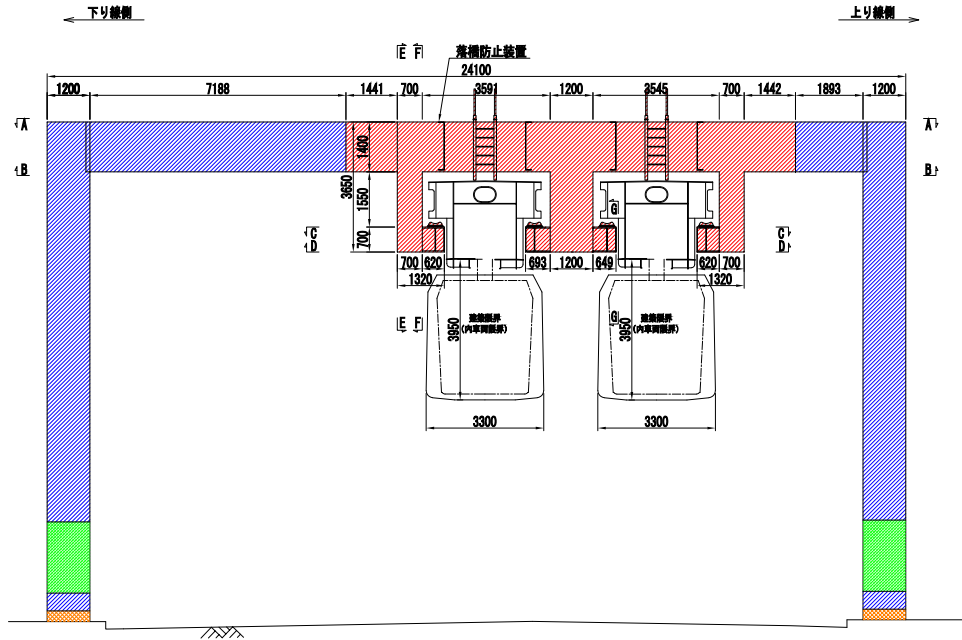
凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場施工）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）

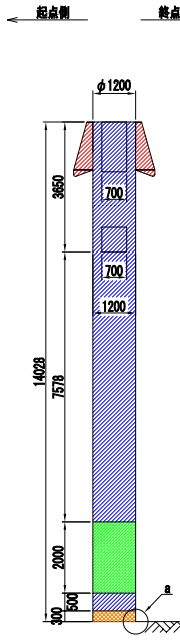
- 注記）
- （ ）内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支承及び添接板について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支承全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道桁端部に設置されてある水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き孔の処置をすること。

下部工塗替塗装工図-1 (支柱 C4P16①)

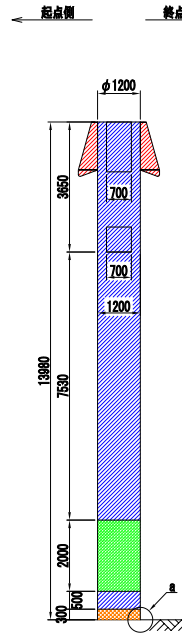
正面図 S=1/75 (1/150)



側面図(下り線側) S=1/75 (1/150)



側面図(上り線側) S=1/75 (1/150)



塗装仕様 (一般部)

素地調整	4層
4時間以内	素地調整乾減剤
補修塗	100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
下塗1層目	200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色)
下塗2層目	200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	中塗
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)	140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	上塗
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)	120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-テ

塗装仕様 (落書き防止)

素地調整	4層
4時間以内	素地調整乾減剤
補修塗	100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
下塗1層目	200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色)
下塗2層目	200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	中塗
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)	140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	上塗
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)	120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-テ
2日～7日	クリアー
特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリアー	80g/m ² 、15μ/回、はけ、R-テ

塗装仕様 (基部)

素地調整	4層
4時間以内	素地調整乾減剤
補修塗	100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	パテ処理
柔軟型エポキシ樹脂パテ	300g/m ² (鋼/コンクリート接合部のみ)
直ちに～7日	下塗
速乾型厚膜型エポキシ樹脂塗料	1000g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～7日	上塗
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)	120g/m ² 、はけ、R-テ

凡 例

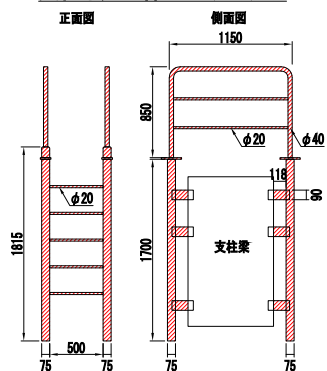
表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

注記)

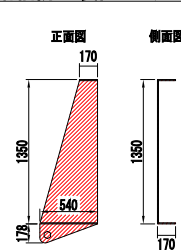
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地に於いて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調整乾減剤は、錆部13%とし、錆部以外にのみ使用する。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 支柱に貼付されている番号表示、標識類等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
- 支柱基部対策工法の舗装上の塗装上については、下記の通りとし、監督員の承認を得ること。

歩道部：色見本にて現地合せした類似色

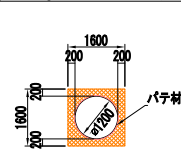
支柱乗越え梯子 S=1/25 (1/50)



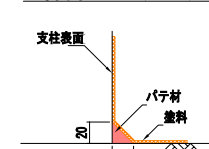
落橋防止装置 S=1/25 (1/50)



支柱基部 平面図 S=1/75 (1/150)



a部詳細図 S=1/2.5 (1/5)



千葉都市モノレール株式会社

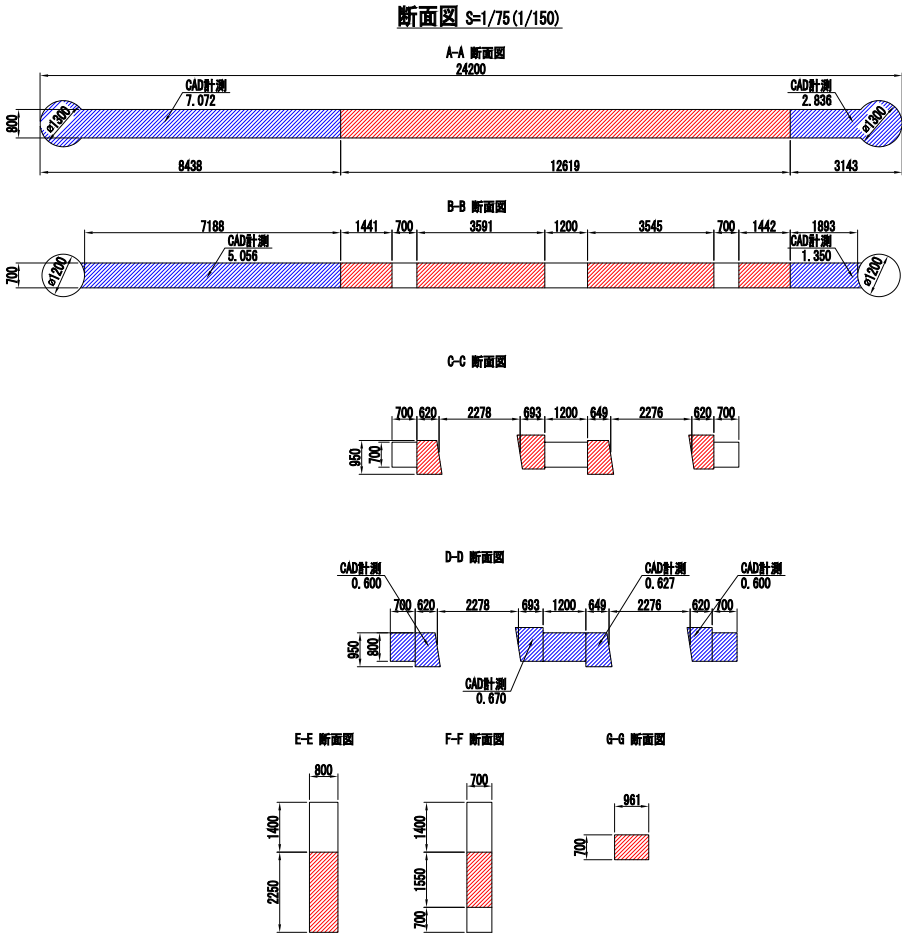
千葉都市モノレールインフラ整備部

下部工塗替塗装工図-1

図示

6

下部工塗替塗装工図-2
(支柱 C4P16②)



塗装仕様（一般部）

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整軽減剤	100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー）
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色）
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白）
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1）

塗装仕様（落書き防止）

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整軽減剤	100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー）
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色）
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白）
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1）
2日～7日	クリアー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリアー

塗装仕様（基部）

4時間以内	素地調整	4種
補修塗	素地調整軽減剤	100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ
直ちに～7日	下塗	速乾型厚膜型エポキシ樹脂塗料
3時間～7日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1）

凡 例

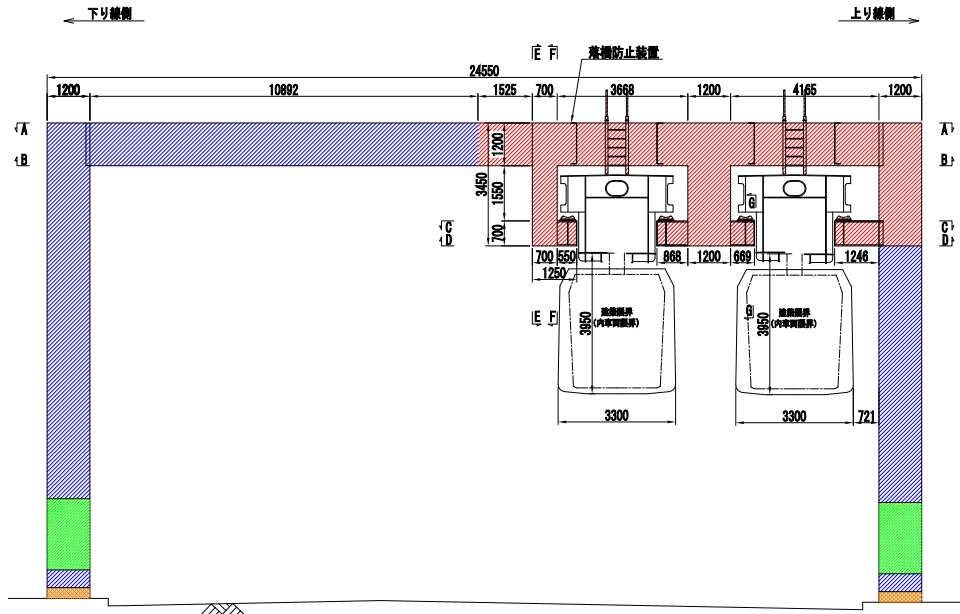
表 示	塗 装 仕 様
（赤錆色）	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場作業）
（グレー）	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）
（白）	塗装範囲（夜間施工・落書き防止・高車作業）
（黒）	塗装範囲（昼間施工・基部・地上作業）

- 注記）
- （ ）内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 支柱に貼付されている番号表示、標識類等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
 - 支柱基部対策工法の舗装上の塗装上については、下記の通りとし、監督員の承認を得ること。

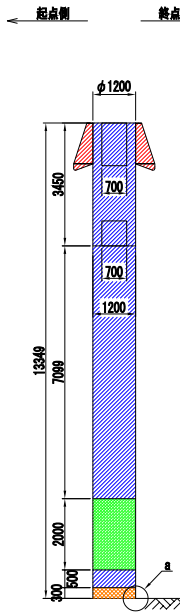
歩道部：色見本にて現地合せした類似色

下部工塗替塗装工図-3 (支柱 C4P17①)

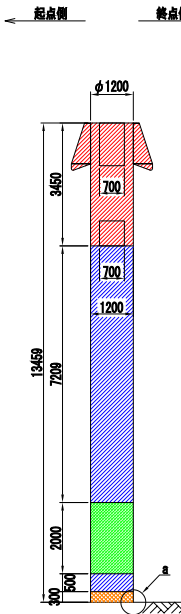
正面図 S=1/75 (1/150)



側面図(下り線側) S=1/75 (1/150)



側面図(上り線側) S=1/75 (1/150)



塗装仕様 (一般部)

作業	仕様
4時間以内	素地調整
3時間～3日	補修塗
1日～10日	下塗1層目
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	中塗
1日～10日	上塗

塗装仕様 (落書き防止)

作業	仕様
4時間以内	素地調整
3時間～3日	補修塗
1日～10日	下塗1層目
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	中塗
1日～10日	上塗
2日～7日	クリアー

塗装仕様 (基部)

作業	仕様
4時間以内	素地調整
3時間～3日	補修塗
直ちに～7日	下塗
3時間～7日	上塗

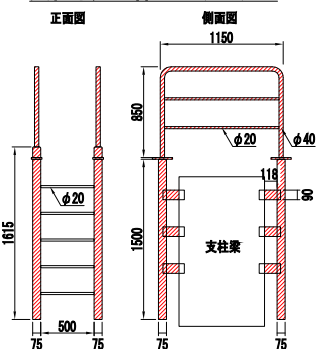
凡 例

表 示	塗 装 仕 様
■	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
■	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
■	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
■	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

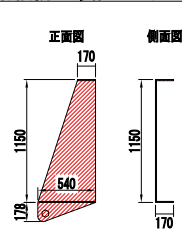
- 注記)
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地に於いて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づいたものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 支柱に貼付されている番号表示、標識類等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
 - 支柱基部対策工法の塗装上の塗接色については、下記の通りとし、監督員の承認を得ること。

歩道部：色見本にて現地合せした類似色

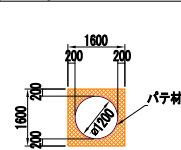
支柱乗越え梯子 S=1/25 (1/50)



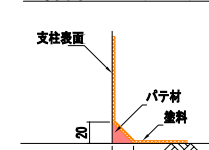
落橋防止装置 S=1/25 (1/50)



支柱基部 平面図 S=1/75 (1/150)



a部詳細図 S=1/2.5 (1/5)



千葉都市モノレール株式会社

千葉都市モノレールインフラ部塗装管理工務課 (工務)

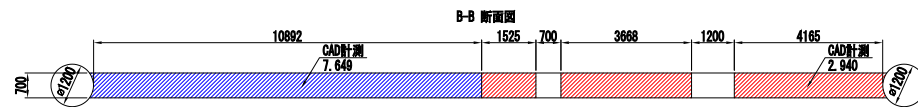
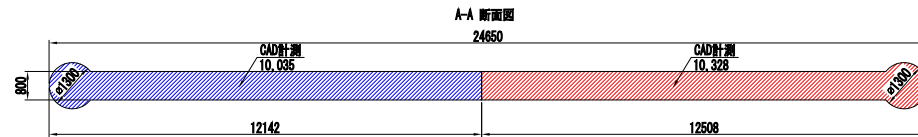
下部工塗替塗装工図-3

図示

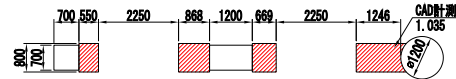
8

下部工塗替塗装工図-4
(支柱 C4P17②)

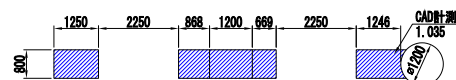
断面图 S=1/75 (1/150)



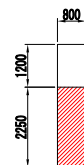
C-C 断面图



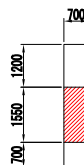
D-D 断面图



E-E 断面图



F-F 断面图



G—G 断面圖



塗装仕様（一般部）

	表土調査	4種
4時間以内		
	補修塗	表土調査軽減剤 100g/m ² 、はけ、ロー
3時間～3日		
	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日		
	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日		
	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、ロー
1日～10日		
	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、ロー

塗装仕様（落書き防止）

	素地調整	4種
4時間以内	修繕塗	素地調整乾拭剤 100g/m ² 、はけ、ロー
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型潤滑剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型潤滑剤変性エポキシ樹脂塗料（赤褐色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日	中塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、ロー
1日～10日	上塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、ロー
2日～7日	クリアー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリアー 80g/m ² 、15μ/回、はけ、ロー

塗装仕様（基部）

4時間以内	素地調査	4型
	補修塗	素地調整乾性剤 100g/m ² 、はけ、ロー
3時間～3日		
	パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂/パテ 300g/m ² (鋼/コンクリート接合部のみ)
直ちに～7日		
	下塗	透乾型厚膜型エポキシ樹脂塗料 1000g/m ² 、はけ、ロー
3時間～7日		
	上塗	調剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 5.7/1) 120g/m ² 、はけ、ロー

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

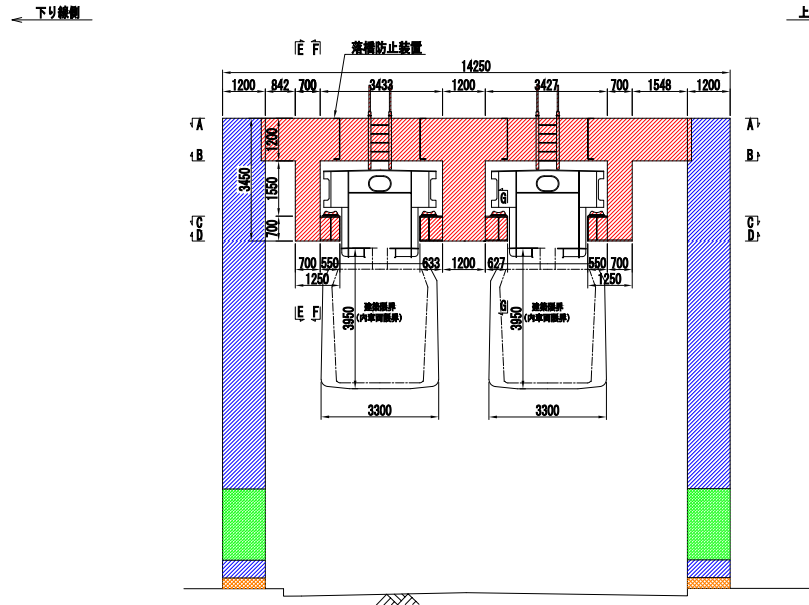
注配)

1. ()内縦尺は、A3型出力時を示す。
 2. 施工にあたっては、現地に計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 3. 図中の地盤情報は、既存探検データ及び現地地盤調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分に把握し、併せて監督官の了承を得た上で行うこと。
 4. 素地調査軽減率は、舗装13%とし、舗装のみに使用する。
 5. 塗装内容は、気温20℃の場合について記載する。
 6. 支保に交付されている番号表示、標識等について、塗装後に新しいものを貼付すること。
 7. 支保基部対策法の舗装上の設置については、下記の通りとし、監督官の承認を得ること。
- 歩道部：色見本と現地色との類似色似色

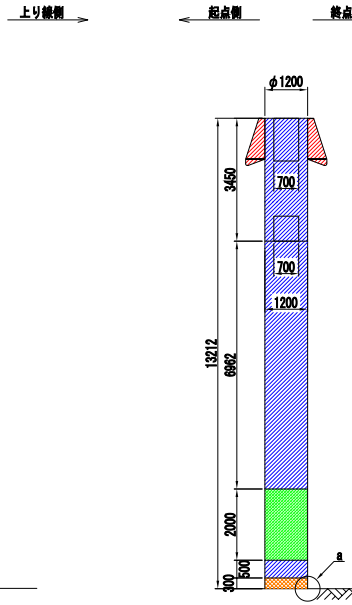
下部工塗替塗装工図-5

(支柱 C4P18①)

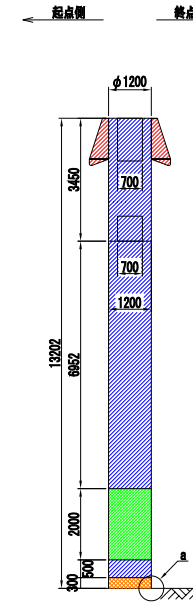
正面図 S=1/75 (1/150)



側面図(下り線側) S=1/75 (1/150)



側面図(上り線側) S=1/75 (1/150)



塗装仕様 (一般部)

素地調整	4種
4時間以内	素地調整軽減剤
補修塗	100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
下塗1層目	200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色)
下塗2層目	200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	中塗
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)	140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	上塗
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)	120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-テ

塗装仕様 (落書き防止)

素地調整	4種
4時間以内	素地調整軽減剤
補修塗	100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー)
下塗1層目	200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色)
下塗2層目	200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	中塗
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白)	140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	上塗
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)	120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-テ
2日～7日	クリアー
特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリアー	80g/m ² 、15μ/回、はけ、R-テ

塗装仕様 (基部)

素地調整	4種
4時間以内	素地調整軽減剤
補修塗	100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	パテ処理
柔軟型エポキシ樹脂パテ	300g/m ² (鋼/コンクリート接合部のみ)
直ちに～7日	下塗
速乾型厚膜型エポキシ樹脂塗料	1000g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～7日	上塗
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1)	120g/m ² 、はけ、R-テ

凡 例

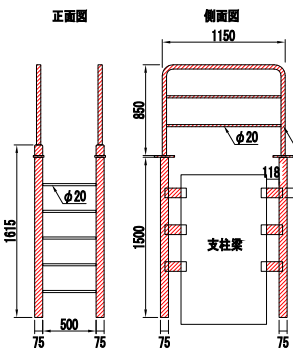
表 示	塗 装 仕 様
塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)	
塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)	
塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)	
塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)	

注記)

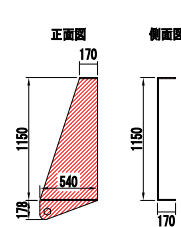
- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地に於いて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づいたものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部以外にのみ使用する。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 支柱に貼付されている番号表示、標識類等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
- 支柱基部対策工法の塗装上の塗装色については、下記の通りとし、監督員の承認を得ること。

歩道部：色見本にて現地合せした類似色

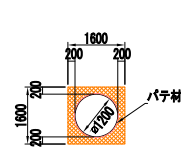
支柱乗越え梯子 S=1/25 (1/50)



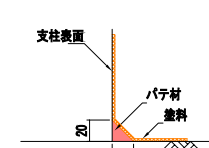
落橋防止装置 S=1/25 (1/50)



支柱基部 平面図 S=1/75 (1/150)



a部詳細図 S=1/2.5 (1/5)



千葉都市モノレール株式会社

千葉都市モノレールインフラ部建設管理課工事

下部工塗替塗装工図-5

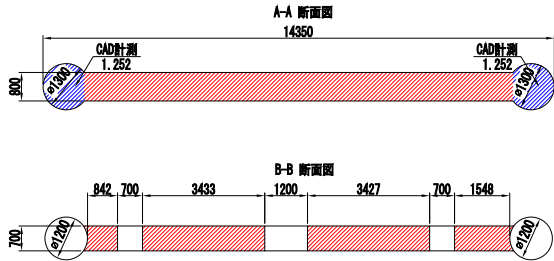
図示

10

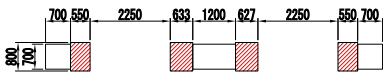
下部工塗替塗装工図-6

(支柱 C4P18②)

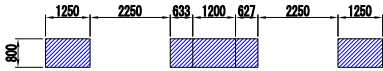
断面図 S=1/75(1/150)



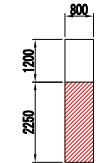
C-C 断面図



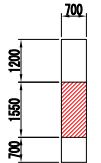
D-D 断面図



E-E 断面図



F-F 断面図



G-G 断面図



塗装仕様（一般部）

4時間以内	素地調整	4層
	補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-テ

塗装仕様（落書き防止）

4時間以内	素地調整	4層
	補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-テ
2日～7日	クリアー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリアー 80g/m ² 、15μ/回、はけ、R-テ

塗装仕様（基部）

4時間以内	素地調整	4層
	補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ 300g/m ² （鋼/コンクリート接合部のみ）
直ちに～7日	下塗	速乾型厚膜型エポキシ樹脂塗料 1000g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～7日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、はけ、R-テ

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（屋間施工・一般部・足場作業）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）
	塗装範囲（夜間施工・落書き防止・高車作業）
	塗装範囲（屋間施工・基部・地上作業）

注記)

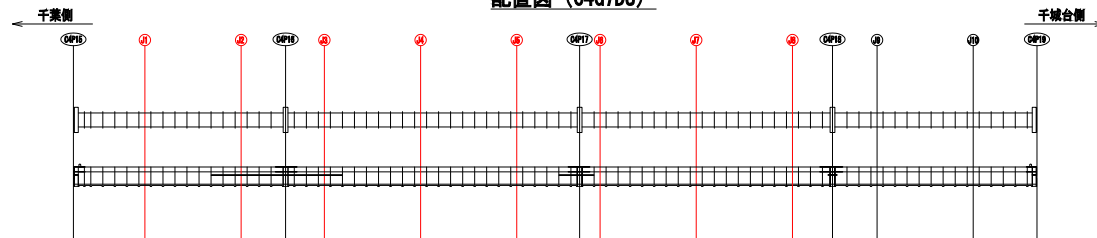
- ()内数値は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地に於て計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部以外にのみ使用する。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 支柱に貼付されている番号表示、標識類等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
- 支柱基部対策工法の舗装上の塗装上については、下記の通りとし、監督員の承認を得ること。
歩道部：色見本にて現地合せした類似色

(軌道桁 添接板①)

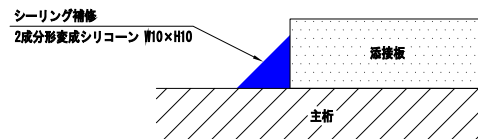
添接板(フランジ) (C4G7DU) S=1/25 (1/50)

	上フランジ	中フランジ
J1~J8		

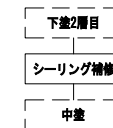
配置図 (C4G7DU)



シーリング補修 詳細図



施工フロー



凡 例

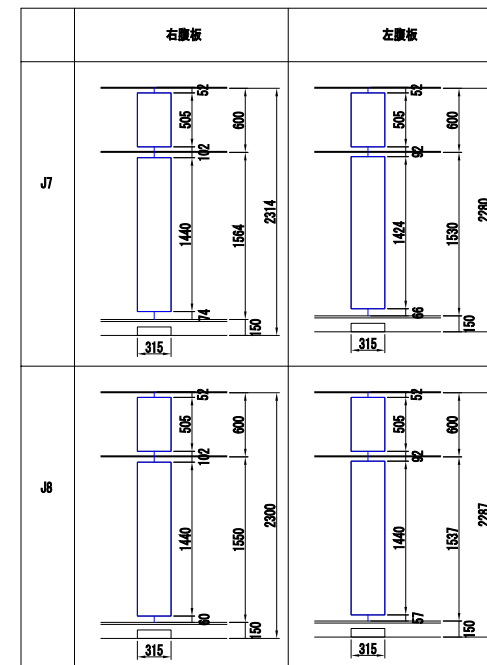
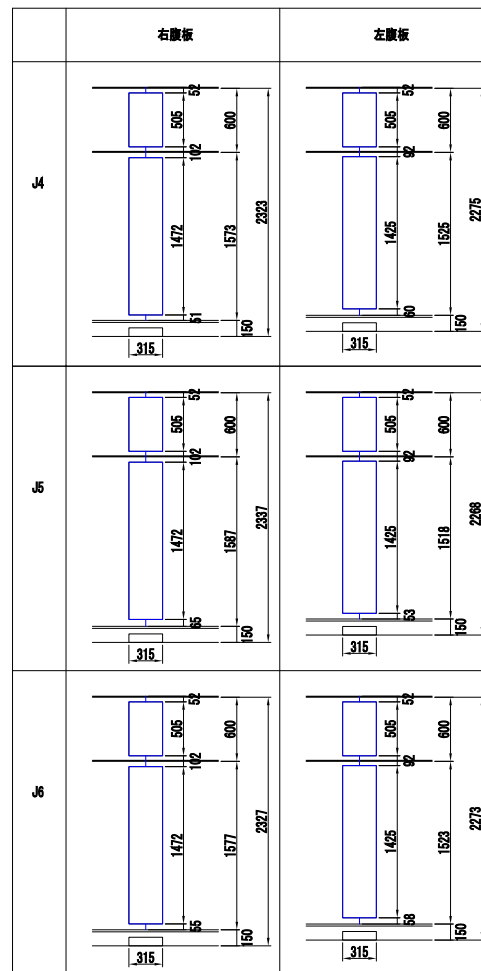
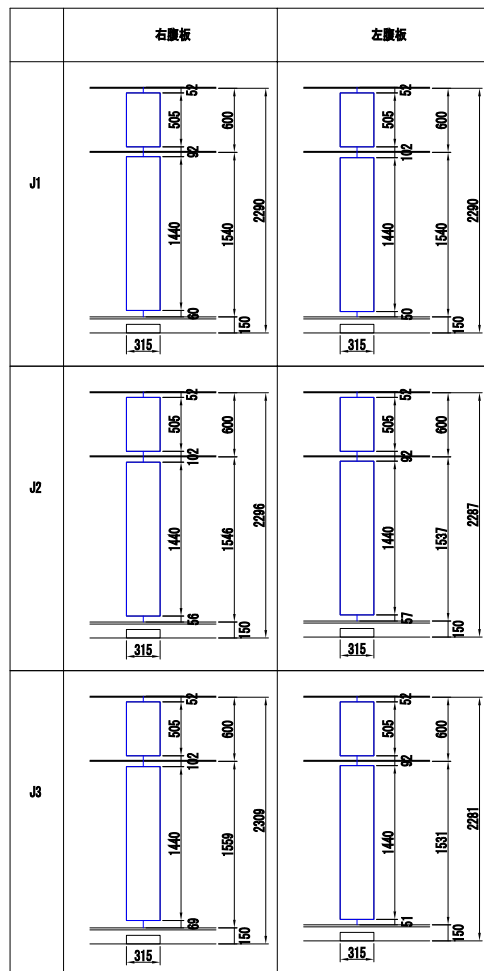
表 示	塗 装 仕 様
	シーリング補修 (2成分変成シリコン #10×H10)

注記)

1. 0内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 施工にあたっては、現地に計測を行った上で形状寸法を確認すること。
3. 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。

シーリング補修工図-2
(軌道桁 添接板②)

添接板(腹板) (C4G7DU) S=1/25 (1/50)



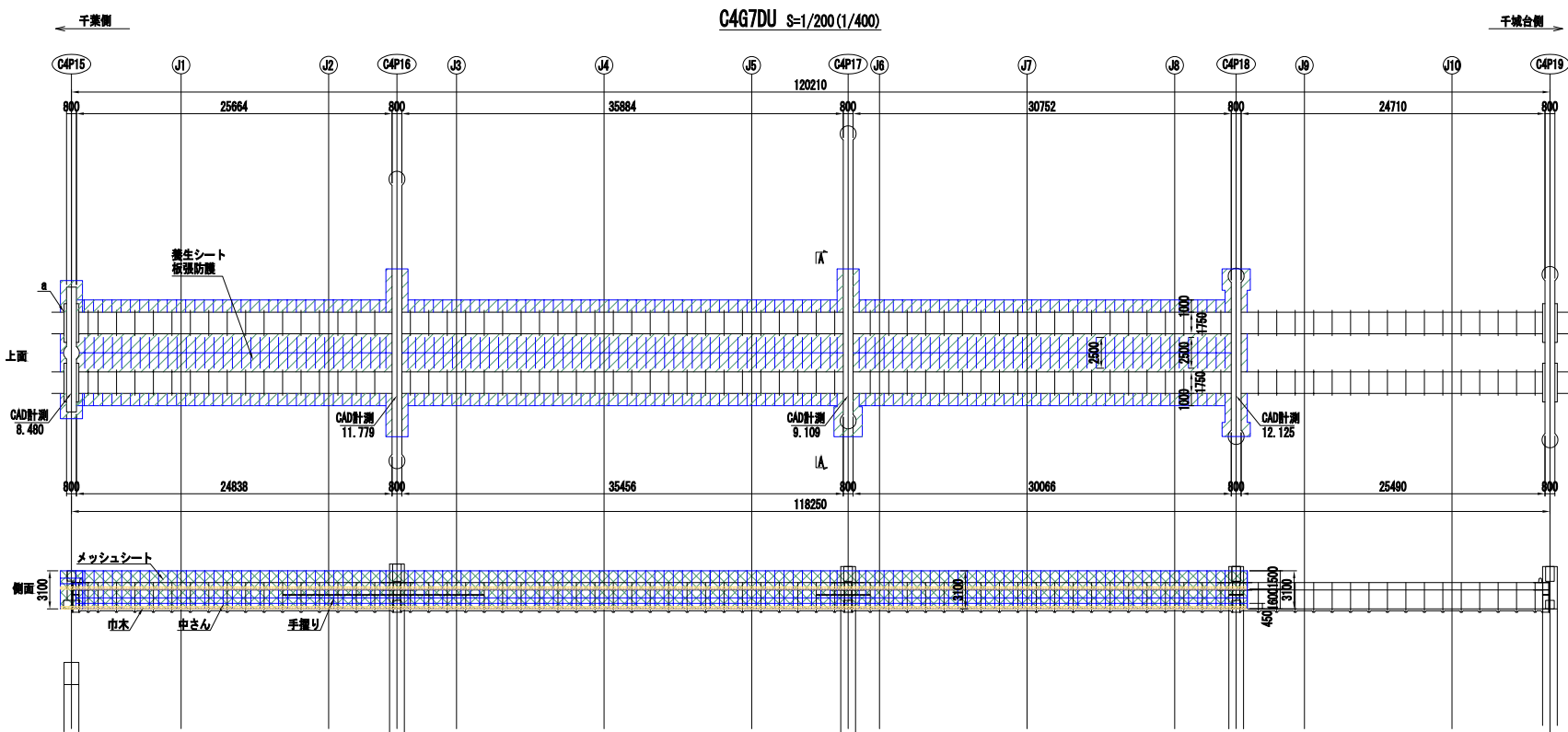
凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	シーリング補修 (2成分形変成シリコーン W10×H10)

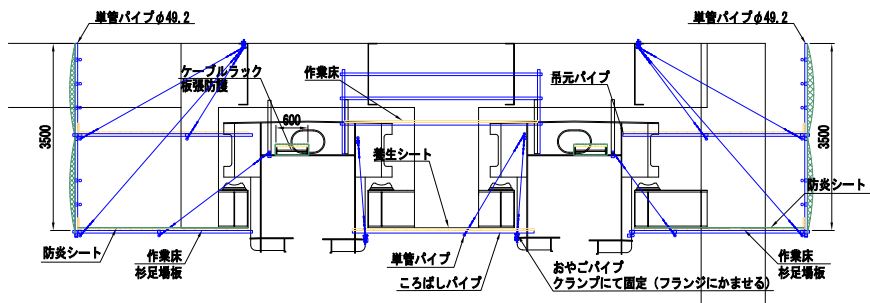
注記)

- 0 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。

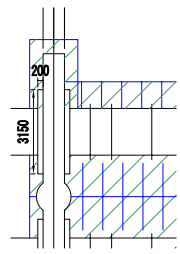
足場仮設計画図-1
(軌道桁 C4G7DU)



断面図 S=1/50 (1/100)
A-A 断面図



a部詳細図 S=1/100 (1/200)



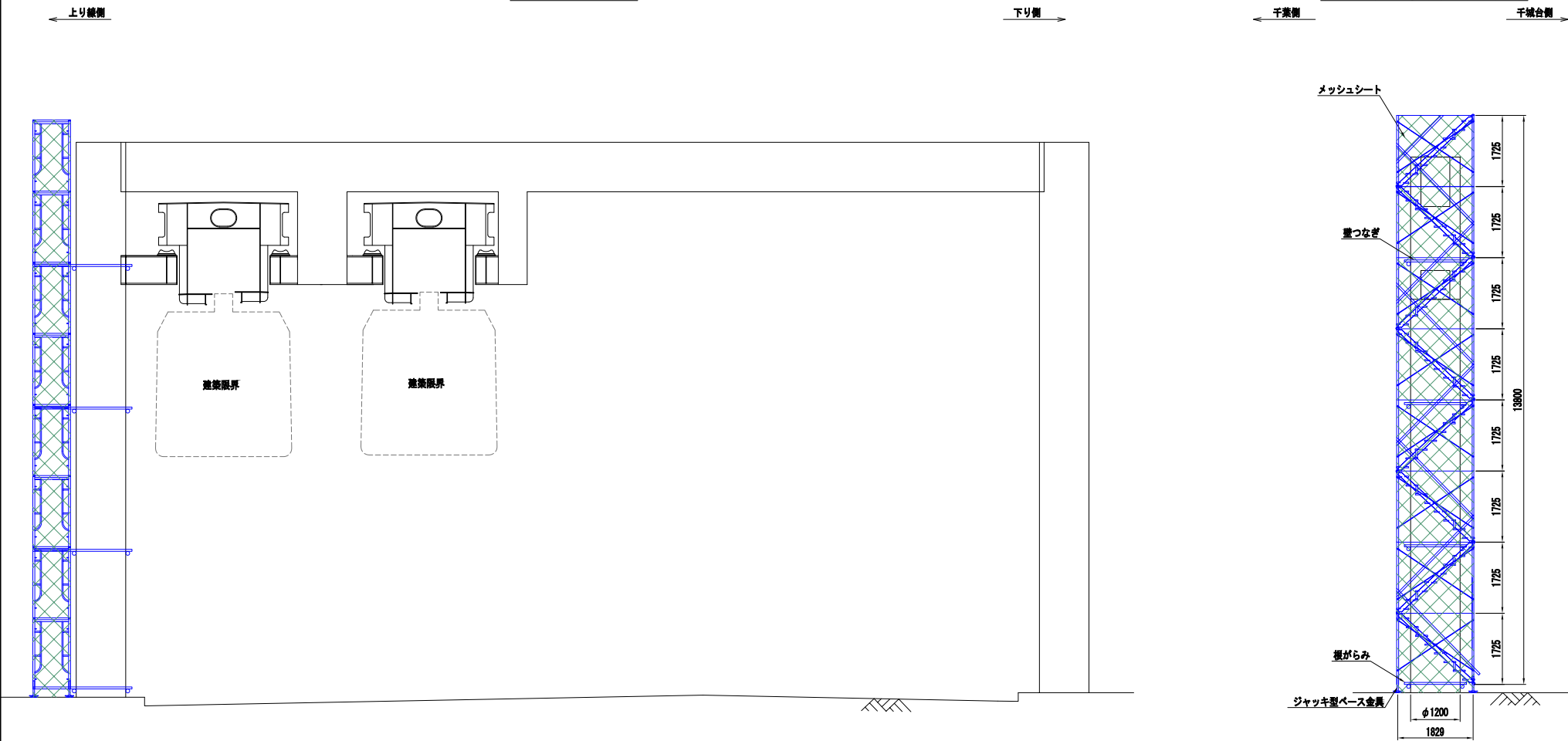
注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、足場仮設計画図を参考とするとともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、足場構造、施工方法、及び安全対策等、工事的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

千葉都市モノレール株式会社				管轄	図面	図名	工事名称	千葉都市モノレールインフラ修繕管理工事 (1工区)	図(表)名称	足場仮設計画図-1	図示	備考
							工事内容					参考図-1

足場仮設計画図-2
(支柱 C4P17)

正面図 S=1/50 (1/100)

側面図(上り線側) S=1/50 (1/100)



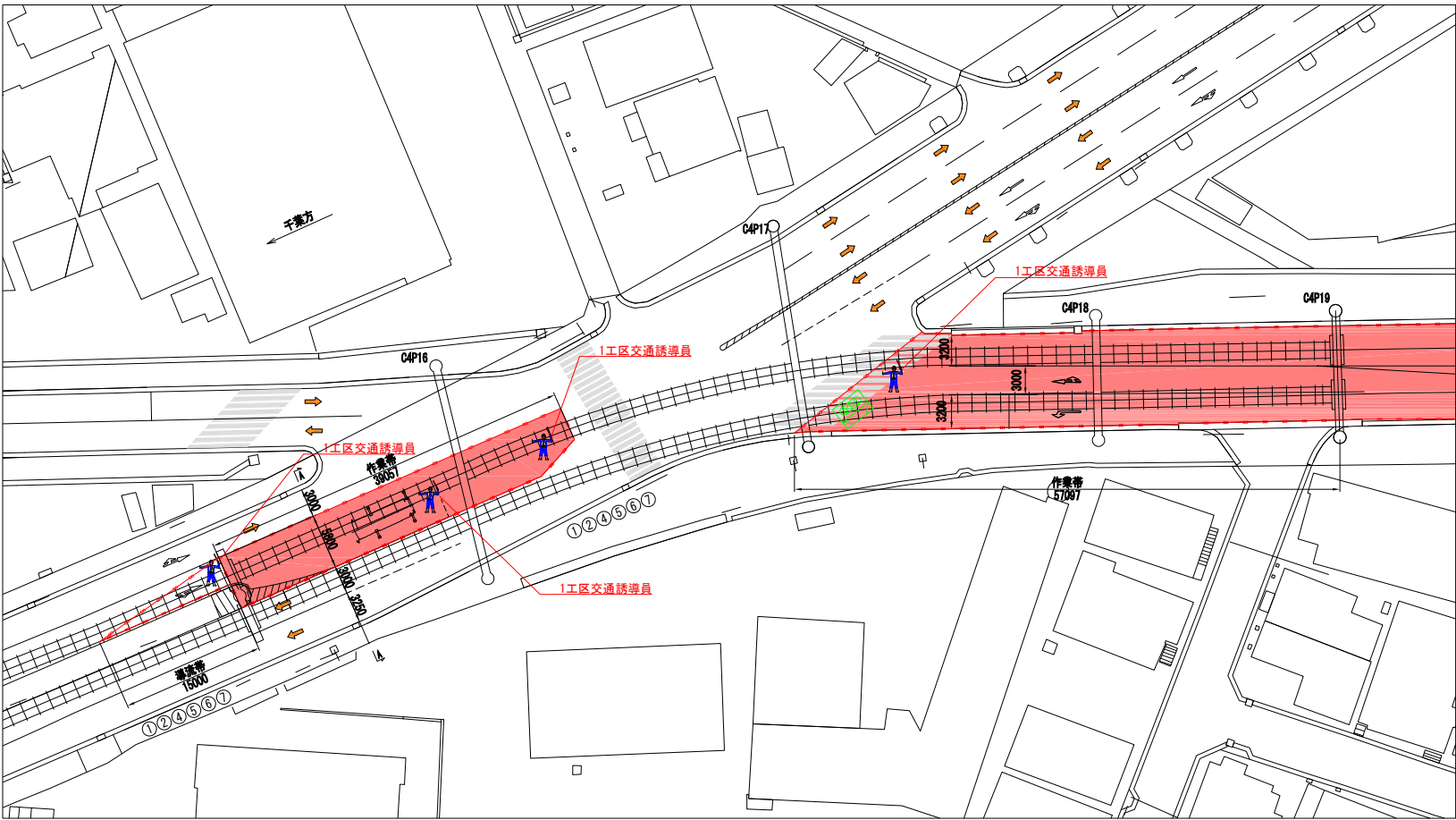
- 注記)
- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 受注者は、足場仮設計画図を参考とするとともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、足場構造、施工方法、及び安全対策等、工事的目的を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
 - 足場は、建築限界に支障しない範囲で仮設すること。

千葉都市モノレール株式会社				千葉都市モノレールインフラ整備推進工事 (1工区)				足場仮設計画図-2			
								図示			
								参考図-2			

交通規制図①<参考図>

(1工区)

位置図 S=1/250 (1/500)

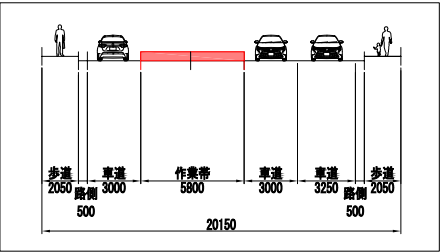


<凡例>

①	工事中表示板
②	工事件名表示板
③	工事予告表示板 50, 100, 200
④	矢印板
⑤	速度落とせ標識板
⑥	車線減少標識板
⑦	黄色回転灯
○	セーフティコーン
—	バリケード
人	交通誘導員
8	標識車又は大型電光式工事標識板
→	車両進行方向

断面図 S=1/150 (1/300)

A-A

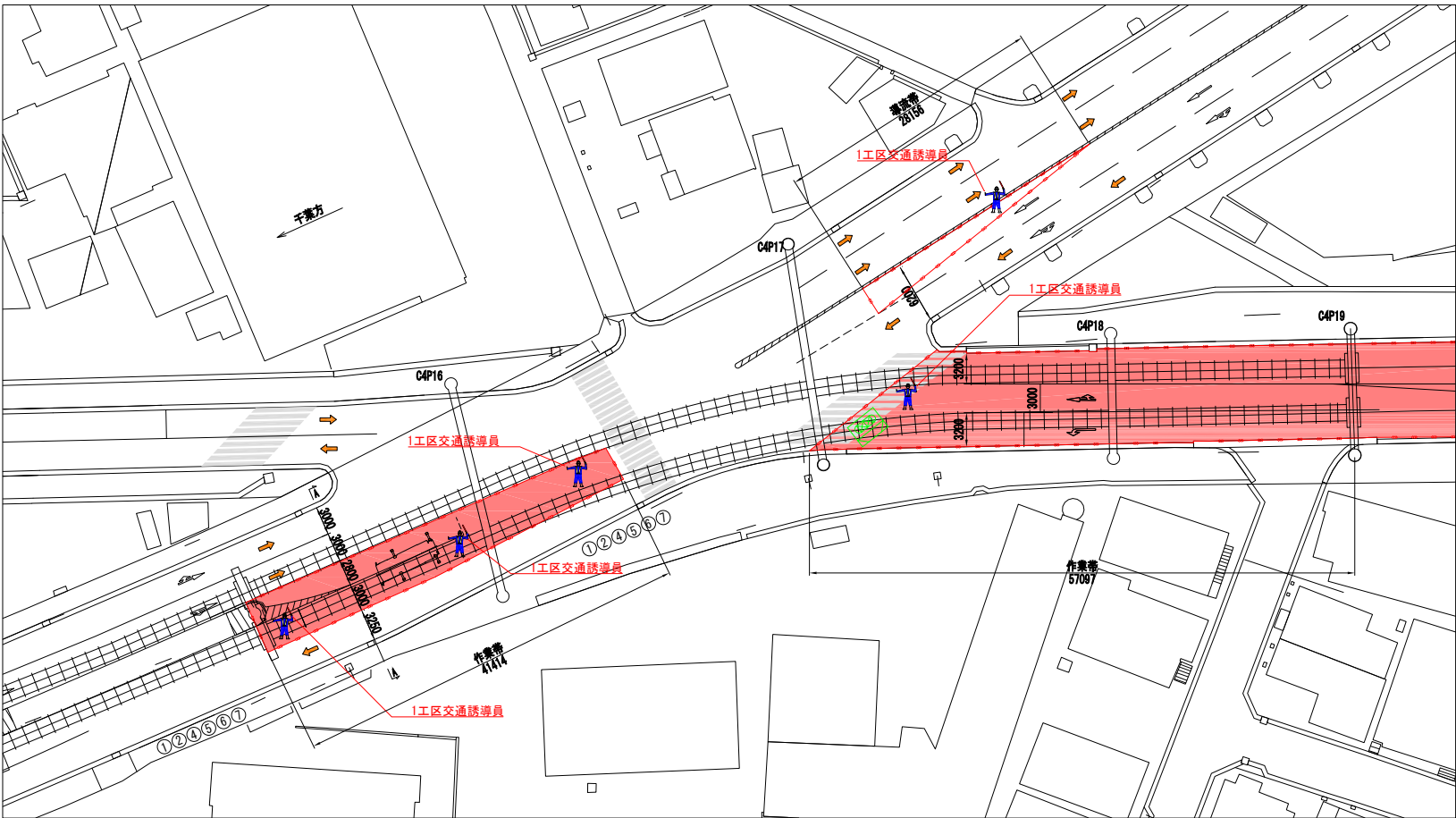


注記)

- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

交通規制図②<参考図>
(1工区)

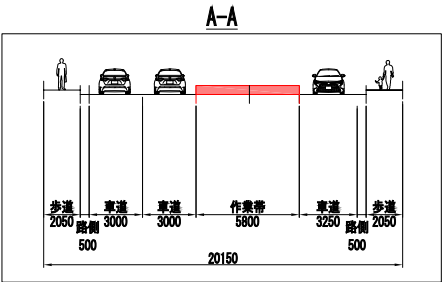
位置図 S=1/250 (1/500)



<凡例>

①	工事中表示板
②	工事件名表示板
③	工事予告表示板 50, 100, 200
④	矢印板
⑤	速度落とせ標識板
⑥	車線減少標識板
⑦	黄色回転灯
○	セーフティコーン
—	バリケード
人	交通誘導員
Ⓜ	標識車又は大型電光式工事標識板
→	車両進行方向

断面図 S=1/150 (1/300)

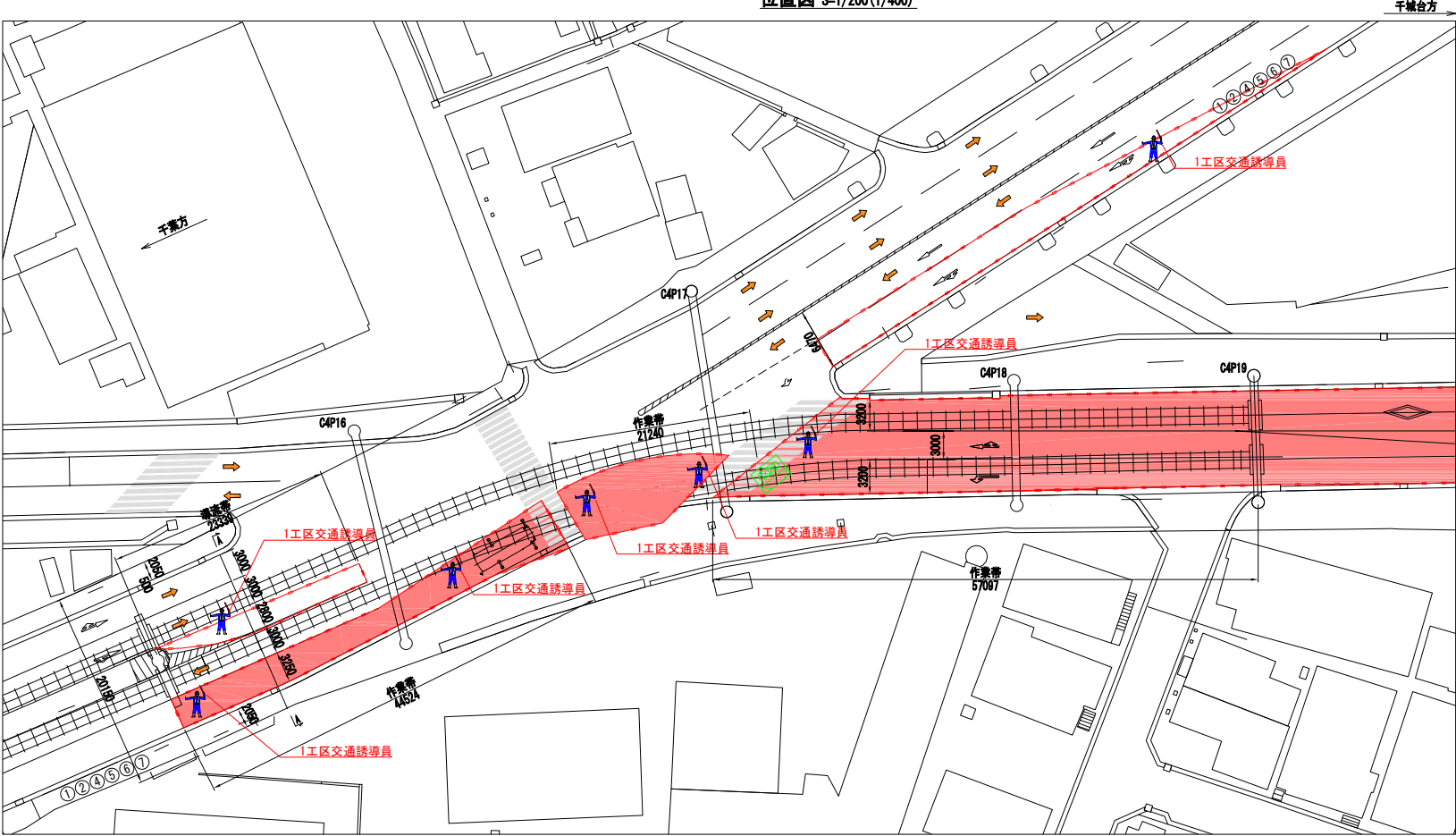


注記)
1. () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

千葉都市モノレール株式会社				管轄	課	課	工事名称	千葉都市モノレールインフラ修繕管理道路工事 (1工区)	図面名称	交通規制図②<参考図>	図示	備考
							工事内容					参考図-4

交通規制図③<参考図>
(1工区)

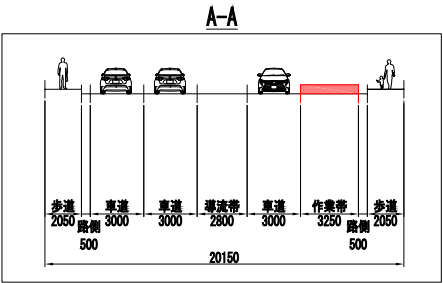
位置図 S=1/200 (1/400)



<凡例>

①	工事中表示板
②	工事件名表示板
③	工事予告表示板 50, 100, 200
④	矢印板
⑤	速度落とせ標識板
⑥	車線減少標識板
⑦	黄色回転灯
○	セーフティコーン
—	バリケード
人	交通誘導員
8	標識車又は大型電光式工事標識板
→	車両進行方向

断面図 S=1/150 (1/300)



注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。